

2005 年 9 月 7 日

13.56MHz 帯ICタグ専用ラインを導入

- 生産タクト 0.5 秒(世界最速レベル)を実現、生産能力 300 万枚に -

日立化成工業株式会社(本社：東京、執行役社長：長瀬寧次、資本金：153 億円)は、IC タグの生産タクトを世界最速レベルの 0.5 秒(当社の従来の生産タクトの 2 分の 1)に短縮した IC タグ専用ラインを導入し、13.56MHz 帯非接触式 IC カード・タグの生産能力をこれまでの 3 倍に当たる月産 300 万枚に増強しました。これにより、2.45GHz 帯ミューチップインレットの生産能力と合わせ、IC カード・タグ全体で月産 1000 万枚を超える生産体制を構築しました。

非接触式 IC カード・タグは、プラスチックでできた板状の成形品にアンテナと IC チップを内蔵し、データを送受信できるようにしたカードおよびタグです。あらゆる環境下でも利便性が高いことから、交通、サービス業、流通など幅広い用途に需要が拡大しており、2010 年度には 9 兆円から 31 兆円の経済波及効果(総務省試算)が見込まれています。

当社は、非接触式 IC カード・タグの事業展開の一環として、1999 年に他社に先駆けて通信用プリペイドカードを発売しました。以来、アミューズメント、アパレル関連用途向けへと製品のバリエーションを広げた結果、2005 年度上期までの累計販売枚数は 3000 万枚に達し、国内ではトップレベルの販売実績を有しています。当社では、こうした事業基盤の下に異方導電フィルム(アニソルム)¹を使用した実装技術、独自のロール to ロール製造法を用いた量産技術、顧客ニーズに対応したアンテナ設計技術を組み合わせることにより、薄さと平坦性の両立を実現したほか、安定性、高信頼性に優れた製造プロセスを確立し、業容の拡大に努めています。

今般、五所宮事業所(茨城県筑西市)に約 4 億円を投じ、事業開始当初から蓄積した製造プロセス技術を生かし、独自の IC タグ専用ラインを導入しました。マルチ高速実装装置から IC タグ検査装置まで一貫した生産ラインを確立することにより生産タクトを世界最速レベルの 0.5 秒と、当社の従来の生産タクトを 2 分の 1 に短縮し、飛躍的に生産性を向上させることができました。

これにより 13.56MHz 帯非接触式 IC カード・タグの生産能力を 3 倍の月産 300 万枚に増強し、2007 年度には売上高約 60 億円を目指し、事業を拡大してまいります。

¹ 異方導電フィルム(アニソルム)

液晶駆動用の半導体チップを実装したテープキャリアパッケージ(TCP)の回路と液晶パネルの電極、および TCP の回路とプリント配線板の回路等を接続するための材料。

<ご参考>



(報道関係お問い合わせ先)

日立化成工業株式会社 コーポレート戦略室(広報・IR)金成

TEL 03-5381-2374